



## NEWS LETTER

NO1 January／2006

国立大学法人 東京外国語大学  
国際学術戦略本部 (OFIAS-TUFS)  
〒188-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
[TEL] 042-330-5931  
[FAX] 042-330-5599

平成18年1月1日

# 東京外国語大学 国際学術戦略本部開設のご挨拶

宮崎恒二

東京外国語大学・理事・副学長  
国際学術戦略本部長

2005年9月1日、国立大学法人東京外国語大学は国際学術戦略本部 (Office for International Academic Strategy、略称OFIAS-TUFS) を開設しました。大学の国際化を促進するための文部科学省の公募に採択されたモデル事業の一環として、OFIAS-TUFSは大学全体の国際的な展開戦略を策定するとともに、海外拠点の創設・運営、海外機関とのリエゾン、国際的な人的ネットワークの形成にあたります。また、海外からの研究者の受け入れ体制を整備するなどして、教員、学生の交流事業を推進しつつ、多言語・多文化共生キャンパスの実現に寄与するほか、大学の実施する国際貢献事業の支援を行います。これらの活動を通じて、国際学術活動の分野で、本学のみならず、様々な場で活躍できる人材を育成します。

東京外国語大学は、世界のほぼ全域にわたる言語、文化、社会の研究・教育を担うユニークな大学です。その研究・教育活動のすべてが、国際性を帯びるといつても過言ではありません。とりわけ、アジア・アフリカをはじめとする諸地域に関する研究活動、言語教育研究の分野などでは、多くの優れた研究者を擁して、活発な研究・教育面での交流が行われてきました。また交流協定機関は、現時点で世界35カ国あまり、75機関におよび、研究者や数多くの留学生を受け入れ、送り出しています。

本学のグランドデザインにおいて、三つの機能を果たす大学であることを宣言しています。

1. 世界諸地域の言語・文化・社会に関する高等教育の拠点
2. 世界諸地域の言語・文化・社会に関する学際的かつ先端的な研究拠点
3. 日本語教育研究の世界的な拠点

大学ばかりではなく、日本全体が広く世界に開かれようとしている今日、キャンパスで数十の言語が飛び交い、世界の多様性を体現する東京外国語大学は、急速に進展しつつある多言語・多文化共生社会における、今後のるべき研究・教育、組織運営のモデルの一つを示しうるのではないかと自負しています。

東京外国語大学国際学術戦略本部は、このような本学の伝統と現実を基盤としつつ、より一層の戦略性、機動性をもった国際的な活動と、国際化を主導する人材の養成に取り組むことによって、21世紀の地球社会と対話し、行動する東京外国語大学の実現に向かって歩んでいきます。

# 東京外国語大学の国際戦略

東京外国語大学は、世界のほぼ全域にわたる言語、文化、社会の研究・教育を担うユニークな大学です。特に、アジア・アフリカをはじめとする諸地域における研究活動を活発に展開しています。また、日本語教育研究を重点的に担う大学として、海外諸機関との連携を強力に進めています。

これらの実績にもとづき、東京外国語大学では、国際学術戦略本部（OFIAS-TUFS）を設置。長期的な視野から地球社会との対話をを行い、行動することを目的に、以下の7つの国際戦略を推進します。

## 戦略1

### 大学の個性を生かした海外研究拠点の設置と整備

重点的に取り組む研究領域において、海外研究拠点を設置し、研究活動を推進するとともに、海外の研究拠点を、研究者が、広く共有する体制を整備する。

#### ◆ペイールートなど海外研究拠点における重点研究

##### プロジェクトの推進

ペイールートなどに設置した海外研究拠点を中心、重点的に取り組む中東・イスラーム研究教育プロジェクトにもとづく研究を推進する。

#### ◆ペイールートなど海外研究拠点の研究者による

##### 共同利用の促進

ペイールートなどの海外研究拠点を、全国共同利用研究所であるアジア・アフリカ言語研究所の海外ブランチとし、国内外の研究者による共同利用を促進する。

#### ◆ロンドン研究拠点における共同研究の推進と

##### ワークショップなどの開催

21世紀COEプログラム史資料ハブ研究拠点（C-DATS）が設置したロンドン大学東洋・アフリカ研究学院（SOAS）内の研究拠点を継続的に活用する。共同研究、ワークショップなどを開催。国際的な活動を展開しうる次世代研究者の養成を進める。

## 戦略2

### 国際コンソーシアムの形成

研究・教育分野を共有する海外諸機関と連携、世界的な水準での研究・教育活動を行う。

#### ◆アジア・アフリカ研究・教育コンソーシアムの形成

アジア・アフリカ諸地域の言語、文化、社会に関する研究・教育を行う海外の諸機関との研究者の交流、共同研究を推進する。

#### ◆日本語教育研究ネットワークの形成

海外の日本語教育機関と連携し、日本語教育の開発を進め

るとともに、積極的なアドバイジング活動を行い、柔軟なネットワークを形成する。

#### ◆平和構築・紛争予防研究・教育ネットワークの形成

海外の諸機関、諸プログラムと連携し、世界的レベルの専門家養成を行う。

#### ◆史資料の共有基盤の形成

アジア・アフリカの歴史ならびに諸言語の資料に関する協定を締結した諸機関と、おたがいが構築した史資料を共有する体制を整備し、共同研究、連携教育を推進する。

## 戦略3

### 「TUFSグローバル・コミュニティ」による海外事業の展開

世界各地に広がる卒業生、修了生、留学生、外国人研究員・教員などをネットワーク化し、海外事業展開の協力体制を構築する。

#### ◆TUFSコミュニティの世界的展開

世界各地に広がる東京外国語大学の卒業生、修了生を「TUFSアソシエイツ」として組織する。その中の中心的役割を果たす「TUFSアンバサダー」の下で、世界各地に連絡事務所「TUFSブランチ」を設置し、研究・教育交流の拠点とする。

#### ◆TUFS研究フェローズ

これまでに在籍した外国人の研究者をネットワーク化し、TUFSコミュニティの海外での研究活動を支援する。

## 戦略4

### 研究・教育活動との連携による国際協力・社会貢献の推進

世界諸地域に関する研究の成果と実績を基礎とし、多言語対応の国際協力・社会貢献を推進する。

#### ◆文字文化財の復興支援事業の推進

史資料ハブ拠点の活動を拡大し、アフガニスタン文字文化財支援事業、インドネシア・アチェ文化財復興支援事業などの文字文化財の復興支援事業を推進する。

#### ◆地域社会の多言語・多文化共生への支援

多言語の使用、多文化の理解を背景とした学校教育、生活情報提供などへの支援を通じて、日本の地域社会における国際化への対応に貢献する。

#### ◆平和構築・紛争予防プログラムの強化

大学院におけるプログラムを通じて、世界諸地域において、平和と社会貢献に寄与する人材を養成する。

#### ◆国際協力インターンシップ

国際戦略本部事業のインターンシップを関連カリキュラムの中に位置づけ、国際学術業務に従事する専門家を養成する。

## 戦略5

### キャンパスと地球を結ぶ国際連携教育の推進

地球社会化時代における多様なニーズに応える人材を養成するため、学生の海外における教育・研修を推進すると同時に、世界諸地域の留学生がともに学ぶ教育環境を整備する。

#### ◆協定にもとづく交流活動の充実

協定校・提携校を拡大し、双方向的な交流活動を推進する。

#### ◆海外インターンシップの拡充

海外インターンシップ制度を多角化し、海外における実践的な経験を身につける機会を提供する。

#### ◆海外留学制度の制度面での支援

セメスター制を整備し、教育の一部分を海外機関で受けられる体制を整備する。

#### ◆e-learningを通じた日本語教育の普及

海外への質の高い日本語教育の普及を図るとともに、インターンシップによる派遣を通じて教員を養成する。

#### ◆インターネットを通じた同時授業の実施

インターネットを通じた同時授業を実施。海外協定機関との双方向的な教育交流を推進する。

#### ◆多言語・多文化教育コースの設置

日本国内の国際化に対応した、多言語・多文化教育に携わる人材を育成するためのコースを設置する。

#### ◆留学生用プログラムの充実

留学生の学習ニーズに応えるために、英語、日本語などによる留学生向けのプログラムを拡充する。

## 戦略6

### 多言語・多文化のユニバーサル・キャンパス21

#### (UC21) の実現

多言語・多文化共生の現状をさらに推進し、地球社会を表現するユニバーサル・キャンパスを実現する。

#### ◆多言語による研究者支援

外国人研究者用の多言語（英語、フランス語、アラビア語など）のマニュアルを整備し、研究活動を円滑に進めるとともに、研究支援要員による多言語対応の支援活動を展開する。

#### ◆国際研究活動支援体制の構築

国際ビジネスの経験者およびアカデミック・オフィサーを国際学術戦略本部に配置し、外国人研究者受入れ、国際研究集会の開催、現地拠点運営などに関する業務実施体制を整え、研究者の負担を軽減しつつ、国際的な研究事業を活性化する。

## 戦略7

### 国際学術活動を支える多様な人材の育成

外部人材の採用、実地研修などを通じて、P D、学生インターン、事務職員など、さまざまなレベルの人材の能力を開発し、国際学術業務に携わる多様な人材を育成する。

#### ◆国際展開マネージャーの採用

高度な実務経験と専門性を有する外部人材を国際展開マネージャーとして採用し、国際関係業務の円滑な遂行と体制整備を図る。

#### ◆リエゾン・オフィサーの養成

高度な言語運用能力と豊富な世界諸地域の実務知識を有する卒業生・修了生を、国際展開マネージャーの下でインターンとして実地訓練を行い、国内外の研究・教育機関、公共団体、国際機関、N G Oなどで必要とされる高度専門職業人を養成する。

#### ◆国際性対応力に焦点をあてたスタッフ・ディベロップメント

学内外の事務職員を対象とした研修プログラムを実施するとともに、協定機関及び海外拠点などで実施訓練を行い、多面的なかつ高度な能力を開発する。

### OFIAS-TUFSのアドバイザー

学外有識者からなるアドバイザリー委員会を置き、研究・教育の国際的な展開について、グローバルな視点から助言と評価を求める。

AKASHI, Yasushi (明石 康)

スリランカ平和構築および復旧復興担当日本政府代表、東京外国语大学経営協議会委員

FUJITA, Hidenori (藤田英典)

国際基督教大学大学院教育学研究科教授、東京外国语大学経営協議会委員

HAYMAN, Lesley (ヘイマン、レズリー)

ブリティッシュ・カウンセル駐日副代表、在日英國大使館教育アタッショ

INOUE, Masayuki (井上正幸)

文部科学省国際統括官

KOMANO, Kinichi (駒野欽一)

前外務省特命全権大使 (NGO・アフガニスタン支援調整および人間の安全保障担当)

ONO, Takushi (大野拓司)

朝日新聞社会企画報道部、中央大学総合政策学部客員講師

TAMBO, Norihito (丹保憲仁)

放送大学長

# 国際学術戦略本部（OFIAS-TUFS）通信

## 国際学術戦略本部（OFIAS-TUFS）活動報告（2005/12）

- オーストラリア国立大学グレッグ大学院研究科長 学長表敬訪問（12/2）
- モザンビーク国立大学テンペ教授・国立歴史資料館長 国際学術戦略本部長表敬訪問（12/6）
- 「InterACTing with Global Society - 21世紀の地球社会と対話し行動する - 東京外国语大学国際戦略」を公表（12/8）
- 文部科学省科学研究費補助金「新しい留学生教育プログラムの開発と評価に関する研究」（研究代表者：岡田昭人本学留学生日本語教育センター助教授）公開シンポジウム「新しい留学生教育プログラムの開発と評価」を共催により開催（12/10、於：本学留学生日本語教育センターさくらホール）
- 文化庁との共催事業「スマトラ沖地震及び津波被害を受けたアチェにおける歴史的記録文書等の保存修復研修」を実施（12/14～12/17、於：インドネシア共和国・バンダーアチエ市 アチエ州立博物館）

## 国際学術戦略本部（OFIAS-TUFS）の今後の予定（2006/1～3）

- 中東研究日本センター開設及び開所式にかかる記者会見を開催（1/19、於：丸の内パレスホテル）
- 文化庁との共催事業「アフガニスタン国立公文書館職員に対する資料整理保存技術研修」を実施（1/30～3/21、於：本学及び国立公文書館）
- OIFIAS-TUFS事務職員研修（1/23～2/3、於：レバノン共和国・ベイルート・中東研究日本センター）
- 文部科学省「大学国際戦略本部強化事業」平成17年度公開シンポジウム「大学の国際戦略－戦略的・組織的な取り組みを目指して－」に参加（1/30、於：新宿住友スカイビル）
- 中東研究日本センター開所式（2/1、於：レバノン共和国・ベイルート）
- 「SOAS-TUFS Postgraduate Symposium」を（独）日本学術振興会と共に開催（2/21～22、於：連合王国・ロンドン）
- 本学国際戦略に基づく「アジア・アフリカ研究・教育コンソーシアム」に関する事前打合せ（2/22～2/28、於：連合王国：ロンドン大学東洋アフリカ研究院、オックスフォード大学、リーズ大学 オランダ王国：ライデン大学）
- OIFIAS-TUFS平成17年度報告会（3月中旬～下旬）
- 多言語マニュアル（英語版）を公開（3月下旬）

国立大学法人 東京外国语大学  
国際学術戦略本部（OIFIAS-TUFS）  
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
[TEL] 042-330-5931 [FAX] 042-330-5599  
[URL] <http://www.tufts.ac.jp/common/is/kenkyu/ofias-j.html>  
[E-mail] [ofias-office@tufts.ac.jp](mailto:ofias-office@tufts.ac.jp)

このNEWS LETTERに対してのお問い合わせは、  
上記のところにお願いいたします。

